



採血の疑問

今回は採血の疑問について説明していきたいと思います。
毎回病院に来て採血をしているけど何か注意することはある？
今日は2回も針を刺された！前は1回だったのに、、なぜ？
いろいろ疑問を解決していきましょう！

食事をしてきたけど、大丈夫？

食事をした後に採血を行うと、血糖値、中性脂肪などが高値となります。
このように食事の影響が出てしまう血液検査を行うときは、食事をとらずに来院していただく場合があります。
採血の際は主治医の指示に従ってください。

昨日、お酒をのみました

飲酒により採血結果に影響がある項目があります。
AST、ALT、 γ GTです。
検査前日でなくても、健康上、お酒の飲みすぎには注意しましょう。

どうして何本も採血するの？

1回の採血で複数本とるのは検査の種類や内容によって専用の採血管が必要になるからです。

採血時、手を握るのはなぜですか？

血管をよりはっきりさせるためです。
また、手指からの血流をふやすためです。

採血後、なぜ押さえておくの？

血液は止まるまでに時間がかかるからです。
採血終了後は、採血部位を圧迫して、しっかり血液を止めてください。
圧迫不十分だと、血管の外へ血液が漏れたことにより内出血をおこし、青くなります。
もし、青くなっても、しばらくすると黄色くなり、10日ほどで自然と消えます。
ただし、痛みが続くようであれば、ご相談ください。

血液の色、黒くないですか？

血液は赤というイメージですよね。ですが採血管の中に入った血液の色は少し黒くて不安になるかもしれませんが、これは病気ではありません。採血した血が黒っぽいのは静脈の血液だからです。血液は静脈の血液と動脈の血液に分かれます。動脈血は肺で酸素をもらい各組織に酸素を運ぶ血液です。たくさんの酸素が含まれていて、鮮紅色をしています。それに対して静脈血は、酸素を組織に運び終わった血液です。静脈血に含まれる酸素量はとても少なく、体に不要な老廃物や、二酸化炭素を多く含んでいるので暗赤色をしています。

どれくらいの量を採血するのですか？
とりすぎて貧血になったりしませんか？

検査の内容にもよりますが採血管2, 3本の場合でおおよそ大さじ1杯(10~15ml)くらいの量です。人の血液量は体重の1/13くらいあり、体重60kgの人だと4.6L流れていますのでご安心ください。

血を採りやすい人、採りにくい人の違いは何ですか？

最も血を採りやすい人は、太い静脈が皮膚の下に透けて見える人です。血を採りにくい人は皮膚の奥(皮下脂肪に埋もれている)に血管が通っていたり、加齢に伴い静脈が見えにくい人です。血管が固くなっていると見えていても、針から逃げられてしまい、うまく刺せないことがあります。手が冷たい時は使い捨てカイロ等で採血部位や手を温めておくと血管が出やすくなります。

採血を採り直しされました。なぜですか？

溶血や凝固があると、正確な検査値を出すため、もう一度採り直しをお願いすることがあります。駆血時間が長かったり、採血時間が長かったりすると溶血のリスクが高くなります。駆血時間や採血時間が長くなる要因としては血管が細い、硬い、脆い、出にくい、血圧が低い、栄養状態が悪い、高齢等が考えられます。

- ◇採血前は誰でも緊張してしまいます。まずはリラックス！大きく深呼吸してみてください。
- ◇採血のときに気分が悪くなったことがある方や、気分が悪くなりそうな方は、遠慮せずに採血担当者にそのことをお伝えください。ベッドで寝ながら採血いたします。
- ◇採血のときに、アルコール綿で採血部位の皮膚を消毒します。時々、アルコール綿で皮膚が赤くなったり、かゆくなったり、はれたりする方がいらっしゃいます。お酒に弱い方が多いようです。あらかじめおっしゃっていただければ、別の消毒綿を使用いたしますので、お気軽に採血担当者にお伝えください。

